

アダムキュービッツ動脈の同定における造影 CTA と Slow infusion+Fast TOF SPGR 法による造影 MRA の精度評価に関する研究

2018 年 4 月から 2023 年 3 月までに当院でアダムキュービッツ動脈の同定のための胸部大動脈の造影 MRI と、造影 CT 検査を受けられた患者様

研究協力をお願い

当科では「アダムキュービッツ動脈の同定における造影 CTA と Slow infusion+Fast TOF SPGR 法による造影 MRA の精度評価」という研究を行います。この研究は、2018 年 4 月 1 日より 2023 年 3 月 31 日までに日本医科大学千葉北総病院放射線センターにて、胸部大動脈の造影 MRI と、造影 CT 検査を受けられた患者さんの画像データから、アダムキュービッツ動脈の同定の精度を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：アダムキュービッツ動脈の同定における造影 CTA と Slow infusion+Fast TOF SPGR 法による造影 MRA の精度評価に関する研究

研究期間：2018 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

研究責任者：日本医科大学千葉北総病院 放射線科 嶺 貴彦

(2) 研究の意義、目的について

アダムキュービッツ動脈は胸部から腹部に移行する範囲の大動脈から枝分かれする 1mm 前後の細い動脈であり、脊髄という神経の束を栄養する血管のひとつです。大動脈解離や大動脈瘤の手術の際にアダムキュービッツ動脈がふさがると危険性があるために、術前の画像診断での評価は大切ですが、その診断精度は完全ではありません。今回の研究では、私たちが取り組んでいるアダムキュービッツ動脈を正確に診断するための MRI と CT の検査方法を評価して、精度を向上させようという主旨であり、大動脈の手術後における神経障害の発生頻度を下げることが目標としています。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2018 年 4 月 1 日より 2023 年 3 月 31 日までに日本医科大学千葉北総病院放射線センターにて、胸部大動脈の造影 MRI と、造影 CT 検査を受けられた患者さんの画像を解析し、アダムキュービッツ動脈の同定の精度を検討します。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：画像データ

情報：年齢、性別

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学千葉北総病院 放射線科 嶺 貴彦

〒270-1694 千葉県印西市鎌苅 1715

電話番号：0476-99-1111（代表） 内線：2234

メールアドレス：t-mine@nms.ac.jp

作成時の注意(この注意書きは提出前に削除してください。)

- ・ オプトアウト(情報公開ならびに研究対象者等が拒否できる機会の保証)を採用する研究について、この様式を作成・提出してください。
- ・ 本ファイルは、倫理委員会にて承認後、研究開始日から千葉北総病院(倫理委員会)HP 上に公開します。
- ・ 黒字部分は、原則としてそのままにして下さい。